平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 02
 01
 02
 02
 01

 細事業名
 情報公開・個人情報事務

担当部局
企画総務部担当課等担当課長の氏名総務課中村 和幸担当者の氏名和田 佳子

整理番号 24-5

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(-245/4)	▼ パートナーシップ都市② 協働と共創のまちづくりの推進			和田 佳子
(前别圣本时四)	施策方針		3 情報公開の推進	-		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	情報公開制度	及び個人情報保護制度の適正な運用を図る。	平成26年 事業の効果		

DO 平成21年度 事業の実績 (何を対象に、 何をしたか) 条例に則って、情報公開制度及び個人情報保護制度を運用する。 情報公開・個人情報保護審査会の開催 1回 平成21年度 事業の効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) 平成20年度からインターネットを利用した情報公開請求を開始したこ ▲ 少し遅れている 0 理由とによって、請求者の請求等手続及び費用の負担が軽減され利便性 (少しできていない) が向上した。 × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 情報公開・個人情報保護審査会に係る経費が大半を占めており、情 ▲ 少し削減の余地があった 0 理由 報公開請求の増加、及び行政事務の多様化に伴う個人情報を取り扱 × 削減の余地があった う事務の増加等により、審査会の開催回数が減ることは考え難い。

ACTION								
AOTION	事業内容の方向性							
改善	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	世中 情報公開・個人情報保護制度への関心が高まり、また、公開請求手続きの利便性が向上したことで公開請求等の件数が増大しており、運用 状況を注視する時期であるため。						
以普	事業規模の方向性							
	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 情報公開・個人情報保護制度への関心が高まり、また、公開請求手続きの利便性が向上したことで公開請求等の件数が増大しており、運用状況を注視する時期であるため。						

	●「然と「干及人									
	j	裁出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		1	30		国庫支出金					
1		9	28		府支出金					
		11	25	財	起債					
	予算科目			源内	分担金・負担金					
				訳	その他					
					一般財源		83			
	事業費合計		83		合計		83			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 02
 01
 01

 細事業名
 団員報酬

担当部局
企画総務部
担当課等 担当課長の氏名
総務課 中村和幸
担当者の氏名
川村義輝

整理番号 36-10

一 PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針 計画項目 施策方針		VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化 2 消防団の強化			川村義輝
事業の目的	(どのような目	消防団員の活動	動に対する報酬支給。	平成26年度 事業の効果目標	トラケ効里をだすか でき	消防団員の活動を支援する。

 DO

 平成21年度 事業の実績
 (何を対象に、 何をしたか)
 条例に基づき、消防団員の階級に応じた報酬を支給。 団員報酬平均年額25,152円(H21.4.1現在1,761人)

 平成21年度 事業の効果 事業の効果
 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 理由条例に基づいた支給。 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 条例に基づいた支給。 ▲ 少し削減の余地があった 0 理由 報酬のH19地方交付税算入額(団員)36,000円 ※京丹後市(団員) × 削減の余地があった 19,000円

ACTION				
ACTION	事業に	内容の方向性		
		A 現状維持		ツサロミのロ派もの種類的な活動のも b.c. フの光サーヤナフヤロ
	Α	B 内容の見直し	理由	消防団員の円滑かつ積極的な活動のために、その労苦に対する対価 として、引き続き報酬は必要である。
改善改善		C 統廃合·休止·終了		COCC TICING TRAINING OF COTOR
以音	事業	現模の方向性		
		A 事業拡大		
	В	B 現状維持	理由	団再編と併せ、団員への支援向上を引き続き検討することとするが、 報酬等に関して当面は現状維持。
		C 事業縮小		INDIA ATTEMPT CONTRACTOR OF THE STATE OF THE

●干成21年度次:	开								
į	歳出			歳入					
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
	1	44,156		国庫支出金					
				府支出金					
			財	起債					
予算科目			源内	分担金•負担金					
			訳	その他					
				一般財源		44,156			
事業費合計		44,156		合計		44,156			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 02
 01
 02

 細事業名
 公務災害補償費等

担当部局
企画総務部担当課長の氏名担当課等担当課長の氏名総務課中村和幸担当者の氏名

整理番号 36-11

総合計画 (前期基本計画)基本方針 (政策)VI うるおい安全都市川村義輝計画項目 (施策)⑧ 消防・防災体制の強化地策方針2 消防団の強化事業の目的(どのような目的で事業を実施するか)消防団員の活動中の負傷等に対する補償、災害へ協力いただいた市民が負傷等に対する補償、災害へ協力いただいた市民が負傷等を表されるの制理を行うもの。平成26年度事業の効果目標を表されるの制度を行うもの。経続して行う事務であり、制度に則って補償することで、市民への周知も図っていくような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	PLAN					担当者の氏名
(前期基本計画) 計画項目 (施東) 図 消防・防災体制の強化 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団員の活動中の負傷等に対する補償、災害へ協力いただいた市民が負傷等 平成26年度 (平成26年度までに、どのような目的で事業を実した際の特徴を行うまの) はたいないないであまった。 では、これの は、 では、 では、 では、 とうな効果をだすか。 できまる の は、 では、 とうな効果をだすか。 できまる の は、 とうなの は、 とうなの は、 とうなの は、 とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうない とうない		基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい安全都市		川村義輝
施策方針 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団の強化 2 消防団員の活動中の負傷等に対する補償、災害へ協力いただいた市民が負傷等 平成26年度 ような効果をだすか。でき ま業の効果日標 ような効果をだすか。でき ままの効果日標 ままの効果とだすか。でき またの はんだい ことで、 市民への 問知も図っていく またい ことで、 市民への 問知も図っている ことで、 市民への 問知も図っていく ことで、 市民への 問知も図っていく またい ことで、 市民への 問知 に対している ことで、 市民への にはい ことで、 ことで、 市民への にはい ことで、 ことで、 ことで、 ことで、 ことで、 ことで、 ことで、 ことで、		計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化		
事業の目的 的で事業を実 した際のは傷を行うもの	(前别圣杯时四)	施策方針		2 消防団の強化		
	事業の目的	的で事業を実			まった。 日本世 日本世 日本世	継続して行う事務であり、制度に則って補償することで、市民への周知も図っていく

DO		
平成21年度 事業の実績		消防団員の活動中の負傷等に対する補償を行った。また、補償制度のための掛金を基金等へ支払った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、ど があったか。でき 数値で記入)	

CHECK						
CHECK	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 間に進捗したか		
		〇 進捗している(できている)				
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	消防団活動の際における団員及び市民の負傷等の損害について、条 例に基づき迅速かつ適切な事務処理を行い、事業目的を果たした。		
評価		× 遅れている(できていない)				
ртіш	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
		〇 削減の余地がなかった				
		▲ 少し削減の余地があった	理由	消防団員の活動中の負傷等を注意喚起や研修などにより、削減できる		
		× 削減の余地があった	- 年田	余地はある。		

			<u> </u>			
事業内容の方向性						
	A 現状維持					
Α	B 内容の見直し	理由	制度に準じた事業内容を継続する			
	C 統廃合·休止·終了					
事業	現模の方向性					
	A 事業拡大					
В	B 現状維持	理由	制度に準じた事業内容を継続する			
	C 事業縮小					
	A 事業類	A 現状維持 A 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	A 現状維持 理由 C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由			

	● 1 次2 1 干及次			_			
ı	į	歳出				歳入	
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
И		5	281		国庫支出金		
7		19	3,712		府支出金		
				財	起債		
	予算科目			源内	分担金・負担金		
				訳	その他		
					一般財源		3,993
	事業費合計		3,993		合計		3,993

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 02
 02
 01

 細事業名
 団員退職報償金

担当部局
企画総務部担当課等担当課長の氏名超数務課中村和幸担当者の氏名

整理番号 36-12

一 PLAN 给合計画(前期基本計画)	基本方針 計画項目 施策方針		VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化 2 消防団の強化			川村義輝
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	長年の消防団	舌動に対する労苦への報償として、退職報償金を支給する。	平成26年度 事業の効果目	トラか効果をだすか でき	多年にわたる消防団活動の労苦に対するねぎらい。

DO		
平成21年度 事業の実績		退職消防団員の在職年数及び階級等に応じて退職報償金を支給した。 ※退団者7人に、合計3,106千円
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	でのような効果 多年にわたる消防団活動の労苦に対するねぎらい。 きるだけ指標と

DLAN

- CHECK -				
Cilizan	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 間に進捗したか
		〇 進捗している(できている)		
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	報償金支給事務を迅速かつ適切に処理し、事業目的を果たした。
評価		× 遅れている(できていない)		
д Т	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
		〇 削減の余地がなかった		
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	消防組織法(昭和22年法律第226号)第25条の規定に基づき交付するも
	O	× 削減の余地があった	埋田	o .

ACTION									
ACTION	事業内容の方向性								
		A 現状維持		ᄬᄔᄱᅉᅶᄱᇌᅚᇌᇬᅎᅷᄼᆇᅏᇬᇬᄝᅛᅏᇬᅎᇫᇬᄱᅌᇅᅷᅷᅔᅷᅷᆛᆛᄀᆛ					
	А	B 内容の見直し	理由	消防組織法(昭和22年法律第226号)第25条の規定に基づき交付するもの。					
改善改善		C 統廃合·休止·終了	Ī	0,0					
以普	事業	規模の方向性							
	В	A 事業拡大		ᄬᄔᄱᅉᆠᄱᄁᅚᇟᇬᅮᆠᄼᄷᅈᇬᇬᄝᅛᄧᇬᄝᇫᇬᄱᅼᇅᆫᄫᇹᆠᆠᆛᆛᅩᅩᆛ					
		B 現状維持	理由	消防組織法(昭和22年法律第226号)第25条の規定に基づき交付するもの。					
		C 事業縮小							

	● 〒										
	į	裁出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
Ы		8	3,106		国庫支出金						
		19	34,656		府支出金						
				財	起債						
	予算科目			源为	分担金·負担金						
				訳	その他	消防団員退職報償金	3,106				
					一般財源		34,656				
	事業費合計		37,762		合計		37,762				

 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 02
 03
 01

 細事業名
 消防団活動運営事業

担当部局
企画総務部
担当課等 担当課長の氏名
総務課 中村和幸
担当者の氏名
川村義輝

整理番号 36-13

_	PLAN					_
		基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい安全都市]
	総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化		
	(的)() 全个自己/	施策方針		2 消防団の強化		
	事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)		団の活動を支える事業で、各種事業の実施に必要な活動運営費 車両等に係る維持管理を目的としてる。	野 平成26年 事業の効果	

成26年度 D効果目標 の効果目標 るだけ指標と数値で記入)

消防団及び団員が活動・運営しやすい環境の整備をめざし、懸案の組織や資機材の 改編を進める。

DO		
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	 31部、1.761人の活動運営に対し、組織の活動費の支出・資機材の購入・修繕、消防車 等等を実施した。
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	消防団の活動に必要な支援及び資機材の維持管理に効果があった。

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) 消防団の運営に対する支援や維持管理はできているが、組織再編に ▲ 少し遅れている 理由向けての取組みができておらず、組織や資機材の配置に対する再編 (少しできていない) 案を作成する必要がある。 × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 0 理由現状勢力の規模としては、これ以上の削減余地はなかった。 × 削減の余地があった

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持						
	В	B 内容の見直し	理由	団の組織再編をめざす。				
改善		C 統廃合·休止·終了						
以音	事業規模の方向性							
		A 事業拡大						
	С	B 現状維持		団の再編により、団員数や資機材の配置を見直すことで、経費の削減 にもつながる。				
		C 事業縮小						

	♥ I MC I TXM										
	į	歳出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
И		8	20,833		国庫支出金						
1		9	31,429		府支出金						
		11	19,710	財	起債						
	予算科目	12	2,981	源内	分担金·負担金						
		13, 14	1,335	訳	その他						
		18	349								
		19	49,804								
		27	2,087		一般財源		128,528				
	事業費合計 128,528			合計		128,528					

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 02
 04
 01

 細事業名
 消防設備維持管理事業

担当部局
企画総務部担当課長の氏名担当課等担当課長の氏名総務課中村和幸担当者の氏名

整理番号 36-14

PLAN							担当有の氏石	
	基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい安全都市				川村義輝	
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化					
(前列至不用百)	施策方針		2 消防団の強化					
	(どのような目	ツルル・エチローンで	亚长沙山从西郊村然田郊井上,一司罗北山市区不安日本学末来 县	正式00年5	・ (平成26年度までに、どの	毎年消火栓新	設を簡易水道分4基、水道分2基のペー	スで設置予定。
事業の目的	的で事業を実	周次活動に必要な消火柱の維持官理制 別会計、水道事業会計へ繰り出すもの。	要な消火栓の維持管理経費として、設置数に応じて簡易水道事業特 長業会計へ繰り出すもの	平成26年度 事業の効果目	まった効果をだすか。でき		繰出金を増額する。	
	施するか)	州 云		ず木の刈木に	315 るだけ指標と数値で記入)			
•								

 DO

 平成21年度 事業の実績
 上水道、簡易水道とも1基あたりの単価により、特別会計へ繰り出した。 〇簡易水道事業特別会計繰出金:4,800円/基×1,955基 〇水道事業会計繰出金:5,400円/基×1,240基

 平成21年度 事業の効果
 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) (少しできていない) 理由 ※ 遅れている(できていない) ※ 遅れている(できていない) ◇ 少しできていない) ※ 遅れている(できていない) ○ 削減の余地がなかった (シし削減の余地がなかった) (シール) (別域の余地があった) (シール) (別域の余地があった) (シール) (別域の余地があった) (シール) (別域の余地があった) (シール) (別域の余地があった) (シール) (

ACTION				—							
ACTION	事業内容の方向性										
		A 現状維持									
	А	B 内容の見直し	理由								
改善改善		C 統廃合·休止·終了									
以告	事業規模の方向性										
		A 事業拡大		*************************************							
	Α	B 現状維持	理由	消防水利の充足率が低い地域や、住宅地の拡大に伴い、年々消火栓 を増設しているため、事業規模も拡大していく。							
		C 事業縮小		E-BIKO CO OTCOST, FINIS COMPTO CO CO							

	●「然と「干及人										
	j	歳出			歳入						
ĺ		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
		28	16,080		国庫支出金						
					府支出金						
				財	起債						
	予算科目			源内	分担金・負担金						
				訳	その他						
					一般財源		16,080				
	事業費合計	事業費合計 16,080			合計		16,080				

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 03
 02
 01

 細事業名
 消防車両整備事業

整理番号 36-15

PLAN A 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		Ⅵ うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化			川村義輝	
	施策方針		2 消防団の強化				
	(どのような目的で事業を実施するか)	老朽化した(実) かつ的確に対処	質20年経過)消防車両を火災または地震などの災害発生時に迅速 ひするため、計画的に更新しいていくもの。	平成26年』 事業の効果	度 ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)		

DO

平成21年度 事業の実績 (何を対象に、何をしたか) 峰山第2分団第1部(新治)及び大宮愛2分団第3部(谷内)の小型動力ポンプ付積載車を更新した。 で表したか) (実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と数値で記入) 経年劣化等により不具合の多かった車両及び小型ポンプの更新を行い、出動時の迅速的確な対応と団員の士気向上につながった。



CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている 現在、消防ポンプ車等車両88台を所持しており、その内15台が18年以 (少しできていない) 上を経過している。それ以降も更新の迫った車両は多い。 × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 多様化する現在の消防団活動に伴う必要不可欠、かつ必要最小限の ▲ 少し削減の余地があった 0 理由ポンプ等資機材および車両等を配備しており、購入費の削減の余地は × 削減の余地があった ない。

ACTION											
ACTION	事業内容の方向性										
		A 現状維持		計画的な更新を進める一方、団の組織再編も並行して検討していく。							
	B *	B 内容の見直し	理由	(一時的に、土木課国庫補助事業の「地域活力基盤整備創造交付金							
改善改善		C 統廃合·休止·終了		事業(効果促進事業)」を活用し、~H24まで車両の更新を予定。)							
以普	事業規模の方向性										
		A 事業拡大		WILL O # # # NOTE - # 24 DO 40 M T/G - 15 1/41 + - 1 / - 1 / - 1							
	В	B 現状維持	理由	消防力の整備指針等に基づき、団の組織再編に取り組むことにより、 ポンプ配置の適正化を図る。							
		C 事業縮小									

	● 1 M2 1 + MA									
١	į	裁出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		9	6		国庫支出金					
		12	132		府支出金	地域防災力総合支援	2,500			
		18	14,196	財	起債					
	予算科目	27	101	源内	分担金·負担金					
				訳	その他					
					一般財源		11,935			
ĺ	事業費合計		14,435		合計		14,435			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 03
 02
 02

 細事業名
 消防車庫等整備事業

消防車庫に加え、立地条件や災害履歴を考慮し、必要最低限の水防

倉庫を併設した車庫を整備した。

整理番号 36-16

PLAN A総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		Ⅵ うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化			川村義輝	
	施策方針		2 消防団の強化		(T-100 F-1-1-1-100		
事業の目的	(どのよっな目的で事業を実施するか)	平時の消防資格 消防車庫から記	機材の保管、また有事の際の活動拠点となる消防車庫を老朽化し 画的に順次整備する。	を 事業の効果			

1

PR (何を対象に、何を対象に、何をしたか) 網野第2分団第3部(下岡)の消防車庫兼倉庫を整備した。
「中をしたか」
「実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)
「実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)
「実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)
「実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)
「実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と
なうになった。

▲ 少し削減の余地があった

× 削減の余地があった

0

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持						
	Α	B 内容の見直し	理由	計画的な更新を進める一方、団の組織再編も並行して行っていく。				
改善		C 統廃合·休止·終了						
以音	事業規模の方向性							
		A 事業拡大		ッキャー				
	В	B 現状維持	理由	消防車両等資機材を安全に保管するためには、老朽化した車庫(倉 庫)を更新していかなければならない。				
		C 事業縮小		年7世文初している 5.771010-05 3-350 。				

	●「然と「干及人									
١	į	裁出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		12	42		国庫支出金					
1		13	1,629		府支出金					
		15	12,123	財	起債					
	予算科目	19	45	源内	分担金・負担金					
				訳	その他					
					一般財源		13,839			
	事業費合計		13,839		合計		13,839			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 03
 03
 01

 細事業名
 防火水槽整備事業

 整理番号 36-17

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	 VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化			川村義輝
		2 消防団の強化 産実な消防水利として迅速かつ的確な消火活動を行うことができ、安 づくりに向け、充足率の低い地域を優先して計画的な整備を推進す	平成20年度	(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)	

DO			
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)		防水利の充足率が低い地域を踏まえ、峰山町泉地内・網野町島津地内・丹後町中浜地 5場地内に耐震性貯水槽をそれぞれ1基設置した。
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	どのような効果 きるだけ指標と	消防水利の不足エリアに有効な40㎡の耐震性貯水槽を埋設し、消防水利の充足率が「した。

CHECK				-
OFILOR	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 間に進捗したか
	0	〇 進捗している(できている)		
		▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	計画どおりに整備できている。
評価		× 遅れている(できていない)		
at IIII	効率に	性・・・DO(平成21年度事業の実績	、ある	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
		〇 削減の余地がなかった		
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	市有地・区有地を基本として、できるだけ経費のかからない場所を選定
		× 削減の余地があった	埋田	必要最小限の規模の防火水槽を整備した。

ACTION									
ACTION	事業内容の方向性								
		A 現状維持		田北州サスセフようしゃナスツは東スケケ4甘いしる。第1771年					
	Α	B 内容の見直し	理由	現状維持であるが、これまで消防費で毎年4基以上設置してきた事業 をH22から農村災害対策整備事業を活用して整備することとなった。					
改善改善		C 統廃合·休止·終了		と11227 り展刊人日内来正端すべと沿川して正端することになった。					
以音	事業	規模の方向性							
		A 事業拡大							
		B 現状維持	理由	※別事業(農村災害対策整備事業)で整備					
		C 事業縮小							
			理由	※別事業(農村災害対策整備事業)で整備					

١	j	歳出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		15	28,932		国庫支出金	消防防災施設等整備	10,472			
1					府支出金					
				財	起債					
	予算科目			源内訳	分担金・負担金					
					その他					
					一般財源		18,460			
ı	事業費合計		28,932		合計		28,932			

 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 03
 04
 01

 細事業名
 消火栓設置事業

整理番号 36-18

PLAN	# 1 1 4	(2) (4)				担当者の氏名
総合計画	基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい安全都市			川村義輝
(前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化			
(同の金件町四)	施策方針		2 消防団の強化			
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	住宅地が広がるして、初期消火	る傾向の中、地区要望、消防水利の充足率といった緊急度等を考慮 に大変有効な消火栓を計画的に整備する。	平成26年度 事業の効果目	(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)	

DO		
平成21年度 事業の実績	○新設 6基((何を対象に、基、安養寺地 何をしたか) ○移設 4基(術防水利の充足率が低い地域を踏まえ、予算の範囲内で整備した。 大宮町周枳地内1基、網野町北大路地内1基、久美浜町栄町地内1基、西本町地内2 内1基) 網野町仲禅寺地内1基、新庄地内1基、丹後町上野地内1基、弥栄町野中地内1基) 大宮町周枳地内1基、網野町掛津地内1基、丹後町久僧地内1基、久美浜町安養寺地内
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標の数値で記入)	消防水利の不足エリアに初期消火に大変有効な消火栓を設置等し、消防水利の充足国としたと共に、地域住民の安心安全に寄与した。

CHECK				<u> </u>
CHECK	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 間に進捗したか
		〇 進捗している(できている)		
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	計画どおりに整備できている。
評価		× 遅れている(できていない)		
д Т	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績	、ある	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
		〇 削減の余地がなかった		
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	一部箇所では上下水道工事に併せて工事を実施するなど、工事費の
		× 削減の余地があった	и	削減にも配慮し、必要最小限の規模の消火栓を整備した。

_	ACTION				<u> </u>							
	ACTION	事業内容の方向性										
			A 現状維持		ツサム ひの かり ドロサムル は パナリ - 人名 ナ 三 玉 か							
		Α	B 内容の見直し	理由	消防水利の確保が困難な地域があり、今後も計画的に整備していくことが必要である。							
	改善		C 統廃合·休止·終了									
	以告	事業持	規模の方向性									
			A 事業拡大		**************************************							
		Α	B 現状維持	理由	消防水利の充足率が低い地域や住宅地の拡大、また老朽化した既設 の消火栓設備に対し、今後も継続して新設や改修が見込まれる。							
			C 事業縮小		VANANCIE DE MINISTER DE CAMITE							

	● 1 %= 1 1及次										
	j	歳出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
١		15	6,752		国庫支出金						
'		19	600		府支出金						
				財	起債						
	予算科目			源内	分担金·負担金						
				訳	その他						
					一般財源		7,352				
	事業費合計		7,352		合計		7,352				

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 03
 04
 02

 細事業名
 消火栓ボックス等整備事業

整理番号 36-19

PLAN 総合計画	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化	川村義輝
(前期基本計画)	施策方針	(加巴米)	2 消防団の強化	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	身近で有効な消するボックスが るために配備を	が外柱を火災等の際に使用するために、消火栓資機材とそれを格納 必要であるため、消火栓の新設や、老朽化した消火栓備品を更新す 行うもの。	成26年度までに、どの な効果をだすか。でき ごけ指標と数値で記入)

DO				1
平成21年度 事業の実績	(何及びなり	〇消火栓ボック	ら老朽化分の更新と消火栓の新設箇所について、予算の範囲内で配備した。 マス80台 〇消火栓ボックス架台80台 〇消火栓用ホース200本 〇管鎗40本 〇消火 上式用)10本 〇消火栓ハンドル(地下式用)30本 〇スタンドパイプ25本 他	
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	ざのような効果 きるだけ指標と		

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ▲ ◆ 少し遅れている 理由 老朽化した消火栓資機材の地元要望は多く、実態に追いついていない のが現状。 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 0 り多くの数量を整備に努めている。 × 削減の余地があった

ACTION		<u></u>		—						
ACTION	事業内容の方向性									
		A 現状維持		"当心 <u>人</u> "。						
	Α	B 内容の見直し		消火栓の新設に伴う消火栓備品の配備や、老朽化に伴う更新が必要 であり、、今後も引き続き事業維持していく。						
改善		C 統廃合·休止·終了		CONT. ACCURACE ANTINO CONT.						
W금	事業規	現模の方向性								
	Α	A 事業拡大		現在の東番根供しは粒1、 kUタ/の東が笠が2両した。マロスも は						
		B 現状維持		現在の事業規模と比較し、より多くの更新等が必要となっているため、 事業拡大が望まれる。						
		C 事業縮小		テス加(1/1/2 至5/1/06)						

	● 1 %21 干及次	7 1									
	j	歳出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
b		18	3,652		国庫支出金						
1					府支出金						
				財	起債						
	予算科目			源内	分担金·負担金						
				訳	その他						
					一般財源		3,652				
	事業費合計		3,652		合計		3,652				

会計名称 事業 細事業 款 項 目 平成21年度予算 一般会計 09 01 04 50 01 細事業名 災害対策一般経費

担当部局 企画総務部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 中村和幸 担当者の氏名 志村和弘

整理番号 36-20

PLAN						_
	基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい安全都市]
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化			
(前の金子町口)	施策方針		4 自主防災の強化	8	危機管理体	制の強
			_			

(どのような目 | 資機材、備蓄物資等を配備するとともに、各種防災用機器等の維持管理を行い、

|的で事業を実 | 災害時に備える。また、地域防災力を高めるため、自主防災組織への支援等を実

強化

平成26年度 事業の効果目標

(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入) 京丹後市各庁舎へ、災害用備蓄物資の配備を図る。

|自主防災組織の組織率を向上させる。(H26目標:197/222団体 88.7%)

DO		<u> </u>
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、防災用機器	なび災害時応援協定締結団体、関係機関に呼び掛け、京丹後市総合防災訓練を実施。 等の維持管理とともに、災害用備蓄物資の補充を行った。 歳の育成・支援として、ネットワーク会議の開催と資機材整備への補助を行った(補助金実 0千円)。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標数値で記入)	

CHECK

評価

事業の目的

施するか)

目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか

びきないる(できている) ▲ 少し遅れている 0 (少しできていない) × 遅れている(できていない)

施する。

各区及び各自主防災組織が主体的に防災訓練に取り組んだほか、資 機材等の整備も進めることができた。また、自主防災組織の組織率も 高まっており、これらのことによって地域防災力の向上を図ることがで

効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 0 × 削減の余地があった

自主防災組織支援補助金については追加要望も多く、今後さらに予算 規模が増加する傾向にある。

また、備蓄物資についても現状は不足状態であり、さらに拡充する必 要がある。

ACTION

改善

事業内容の方向性 A 現状維持

A B 内容の見直し C 統廃合·休止·終了

自主防災組織への支援は今後も継続していき、備蓄物資の補充及び 理由 防災関連機器の維持管理等も継続していく必要がある。

事業規模の方向性

A 事業拡大 自主防災組織の組織率の増加に伴う補助金の拡大、災害用備蓄物資 A B 現状維持 の拡充整備など、予算規模を拡大する必要がある。 C 事業縮小

_	● TWE TEXAS											
	歳出				歳入							
	節 金 3、9	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)						
		3,090		国庫支出金								
		11 2,224		府支出金								
		12	296	財	起債							
	予算科目	13	1,970	源内	分担金·負担金							
		14	17	訳	その他							
		15	1,068									
		16	163									
		19	1,015		一般財源		9,843					
	事業費合計		9,843		合計		9,843					

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 04
 02
 01

 細事業名
 防災行政無線維持管理事業

整理番号 36-22

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	 VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化				川村義輝	
(1370) 22-7-11 (27	施策方針	6 災害情報の発信	-				
事業の目的	的で事業を実	を使って、平時の行政放送や有事の緊急情報を市民に周知するた 対無線器機の保守点検や修繕、電波利用料等日常的な維持管理を		- 及 1 日 煙 「 ^c	平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)		

PR 21年度 事業の実績 (何を対象に、 「内を対象に、 「内を対象に 「内をしたか」 「内を対象に 「内をしたか」 「内を対象に 「内をしたか」 「内を対象に 「内を、 「内を、 「内を、 「内を、 」」 「内を、 「内を、 「内を、 」

CHECK -									
CHECK	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか								
	0	〇 進捗している(できている)							
		▲ 少し遅れている (少しできていない)		有事の際に、防災無線を安心して使用できるよう、適正な維持管理を 行った。					
評価		× 遅れている(できていない)	ĺ						
# · · · · ·	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか								
		〇 削減の余地がなかった							
		▲ 少し削減の余地があった		峰山・網野・丹後・弥栄で免許取得している移動系防災行政無線の活用について、使用頻度がほとんどない状況であれば廃止して、経費を					
		× 削減の余地があった		抑えることを検討する。					

	ACTION				<u> </u>		
Г	ACTION	事業に	内容の方向性				
			A 現状維持				
		Α	B 内容の見直し	理由	有事に備え、適正な維持管理が必要である。		
	改善 ·····		C 統廃合·休止·終了				
	以告	事業	規模の方向性				
		В	A 事業拡大		ナまの晩、刀はにせたマナストンによるとした。日本の後せか田書		
			B 現状維持	理由	有事の際、迅速に対応できるようにするためには、現状の維持管理費 は必要である。		
L			C 事業縮小		1622 × (0) 00		

	● 1									
	歳出				歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
N		9	27		国庫支出金					
1		11	4,237		府支出金					
		12	3,055	財	起債					
	予算科目	13	12,788	源内	分担金·負担金					
		14	2,677	訳	その他	防災行政無線戸別受	263			
		19	212							
					一般財源		22,733			
	事業費合計	費合計 22,996			合計 22					

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 02
 01
 13
 01
 01

 細事業名
 国民保護対策経費

担当部局企画総務部担当課等担当課長の氏名総務課中村和幸担当者の氏名

整理番号 36-23

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化			志村和弘
(前別坐本町四)	施策方針		8 危機管理体制の強化			
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	武力攻擊事態等	等、国民の保護対策のため	平成26年 事業の効果	度 ドラか効果をだすか でき	国民保護関連訓練の開催等による防災体制の強化

 DO

 平成21年度 事業の実績
 (何を対象に、何をした)

 京都府の実施した「国民保護事例研究」への参加

 平成21年度 事業の効果
 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

 図上訓練による緊急対応の習得

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている (少しできていない) ※ 遅れている(できていない) 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった ※ 削減の余地があった ※ 削減の余地があった 再実施の事例研究への旅費のみ。

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持						
	В	B 内容の見直し	理由	国民保護に関連した訓練等への取り組みを進める必要がある。				
改善改善		C 統廃合·休止·終了						
以音	事業規模の方向性							
		A 事業拡大						
	Α	B 現状維持	理由	テロ対策、緊急警報等を活用した訓練実施の検討が必要。				
		C 事業縮小						

▼ 1 M2 1 T/Z//A										
١	歳出				歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		9	2		国庫支出金					
1					府支出金					
				財	起債					
	予算科目			源内	分担金·負担金					
				訳	その他					
					一般財源		2			
İ	事業費合計		2		合計		2			

 空成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 04
 01
 01

 細事業名
 防災会議運営事業

担当部局企画総務部担当課等担当課長の氏名総務課中村和幸担当者の氏名志村和弘

整理番号 36-24

PLAN -				担当有の氏石
	基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい安全都市	志村和弘
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化	
(前列至不可口)	施策方針		8 危機管理体制の強化	
		市地域防災計画 る。	画の修正及びその実施を推進するとともに、市防災体制の整備を図 事業の効	

DO		
平成21年度 事業の実績		災会議の開催(1回)(市総合防災訓練の実施について検討) 災会議委員の委嘱(2年任期)25人
里羊(1)幼虫	(実績により、どの。 があったか。できる 数値で記入)	

CHECK -										
CHECK	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか									
		〇 進捗している(できている)								
	•	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	会議開催は2回を予定していたが、1回のみの開催となった。						
評価		× 遅れている(できていない)								
	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績	、ある	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
		〇 削減の余地がなかった								
	0	▲ 少し削減の余地があった	珊山	 委員報酬及び旅費の支出						
	O	× 削減の余地があった	埋田	女貝和師及び派員の文山						

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持						
	В	B 内容の見直し	理由	会議内容に工夫を持たせ、活発な議論を展開できるよう改善が必要。				
改善改善		C 統廃合·休止·終了						
以普	事業規模の方向性							
		A 事業拡大						
	В	B 現状維持	理由	必要に応じ会議を招集し、議題に関し協議・決定する。				
		C 事業縮小						

	● 1 % 2 1 1 及 / 5									
	Ī	歳出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
١		1	36		国庫支出金					
'		9	5		府支出金					
				財 源	起債					
	予算科目			内	分担金·負担金					
				訳	その他					
					一般財源		41			
	事業費合計	事業費合計 41			合計		41			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 02
 01
 09
 01
 01

 細事業名
 公平委員会

整理番号 38-14

PLAN					造当者の氏名
	基本方針(政策)	Ⅷ 計画推進のために			小石原 正和
総合計画 (前期基本計画)	計画項目 (施策)	効率的な行財政運営の推進			
(同為至中間日)	施策方針				
事業の目的	的で事業を実 施するか) 中立て、勤務名 査・判定・勧告	その他・その意に反する不利益な処分についての審査請求や異談 を件に関する措置の要求等があった場合、それらに対し、調査・審 などを行い、理事者及び職員の意向を汲み取ることによって、市職 できるように職場環境を整える	平成26年	F度 ような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	

平成21年度 事業の実績 (何を対象に、 関する措置の要求等は無かったが、市公平委員会を2回開催し、地方公務員をとりまく現状等について理解を深め、事務局と各委員間で情報を共有することができた。また、上記事案が発生した際、速やかに対応できるよう各種総会にも積極的に参加し、他市の状況等についても学ぶことができた。 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と 教値で記入)

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている 年1回の通常会のほかに、臨時会を開催し積極的な情報共有に努め 理由ることができた 0 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 0 理由 各種研修会や事例研究をする上で、妥当なコストであると考える。 × 削減の余地があった

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持		めまぐるしく変化する社会情勢の中で、地方公務員をとりまく環境も				
	Α	B 内容の見直し	理由	年々厳しさを増しており、今後公平委員会へ申し立てを行う事例が発生した際に、迅速な対応が取れるよう現状通り各種総会等に参加する				
改善		C 統廃合·休止·終了		必要がある。				
W금	事業規模の方向性							
	В	A 事業拡大						
		B 現状維持	理由	職員が職務に精励できる職場環境を整える重要な事業であるため、現状維持とする。				
		C 事業縮小		-S0844#13 C \ 00				

TWE TTENT											
j	歳出			歳入							
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)					
	1	225		国庫支出金							
	9	19		府支出金							
	11 11 財 ;	起債									
予算科目	14	8	源内	分担金·負担金							
	19	46	訳	その他							
				一般財源		309					
事業費合計		309		合計		309					

 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 02
 01
 13
 03
 01

 細事業名
 自衛官募集事務

担当部局
企画総務部担当課等担当課長の氏名総務課中村和幸担当者の氏名

整理番号 38-15

施策方針 施策方針 (どのような目 場供的な自衛官不足を紹治するため、国庫季託会により久自治体が久自衛隊地域 平成26年度までに、どの 本市からの自衛官の安定的な輩出と、自衛隊をはじめ防災関係機関との	PLAN - 総合計画	基本方針計画項目		▼ 計画推進のために			川村義輝
Cのよりは日 塩性的な白海宮不足を報当するため、国庫禾託全に上山久白海はが久白海は地域 平成26年度 下成20年度よりに、この	(前期基本計画)			WHAT WIND CONTRACT			
事業の目的 「いで事業を失 」 事務所と連携し、自衛官確保の推進を目的とする。	事業の目的		慢性的な自衛で 事務所と連携し	曼性的な自衛官不足を解消するため、国庫委託金により各自治体が各自衛隊地域 事務所と連携し、自衛官確保の推進を目的とする。		ような効果をだすか。でき	維持する。

DO									
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	•自衛官募集記 •自衛官募集相	官募集主管課長会議への出張旅費 官募集記事の広報誌への掲載 官募集相談員の委嘱 会、OB会等関係団体との情報交換						
里羊(1)幼虫	(実績により、と があったか。で 数値で記入)		募集相談員を委嘱し、自衛官に関して、市民が相談できる環境を引き続き確保した。						

CHECK				<u> </u>						
OFILOR	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか									
		〇 進捗している(できている)								
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	自衛隊京都地方協力本部と連携し、概ね自衛官募集の推進を図ることができた。						
評価		× 遅れている(できていない)								
	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績	、あるし	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
		〇 削減の余地がなかった								
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	 国庫委託の充当事業であるため、削減の余地はない。						
	O	× 削減の余地があった	生田	当件女店のルコザ木でののため、別点の赤地はない。						

			<u> </u>				
事業	内容の方向性						
	A 現状維持						
Α	B 内容の見直し	理由	自衛隊法に基づいた募集事務地方公共団体委託費事務処理要領に 即しているため。				
	C 統廃合·休止·終了		140 CU "07207°				
事業規模の方向性							
В	A 事業拡大	理由					
	B 現状維持		自衛隊法に基づいた募集事務地方公共団体委託費事務処理要領に即しているため。				
	C 事業縮小	Ī	MAC CO CONCONO				
	A 事業	A B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B B 現状維持	A 現状維持 理由 C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由				

	●「然と「干及人	7 1-						
	j	歳出			歳入			
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)	
		9	10		国庫支出金	自衛官募集事務委託	63	
		11	54		府支出金			
				財	起債			
	予算科目			源内	分担金•負担金			
				訳	その他			
					一般財源		1	
ı	事業費合計		64		合計		64	

 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 02
 01
 02
 01
 01

 細事業名
 文書関係事務

整理番号 38-16

PLAN		基本方針	(政策)	VII 計画推進のために				和田 佳子	
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	① 効率的な行財政運営の推進						
(13.3	МФЧППЛ	施策方針		3 事務事業の見直し	_				
		(どのような目 条例、規則等の例規の制定改廃に伴い、例規集の編纂(データベースの更新等				・	文書管理につい	ては現在は紙による起案、保保	管等を行っているが、これを電子化
哥			事業を実 を行う。					書庫の有効活用、文書検索の	迅速化等、行政事務の効率化を
		施するか)	文書管理の	レールを確立し、適正な公文書の管理を行う。	チネジガネ	るだけ指標と数値で記入)	図る。		

DO		
D0		
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、数何をしたか)	制定改廃を行った例規について、例規集の編纂、データ整備に係るデータベースの更新等を業者に 長託する。 文書管理に必要なファイルボックス、フォルダ等の購入、及び京都府下で共同利用する文書管理システムを利用し、収受及び発議文書の管理をする。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どの があったか。でき 数値で記入)	のような効果

DLAN

CHECK									
CHECK	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか								
		〇 進捗している(できている)							
	•	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	文書管理について、電子決裁導入の検討が必要であるが、現在利用 中のシステムの継続利用又は新たなシステムの導入については、十 分な検討ができておらず未定である。					
評価		× 遅れている(できていない)							
атіш	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、			いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
		〇 削減の余地がなかった							
	0	▲ 少し削減の余地があった	押山	例規の制定改廃等については現在も電子化されており、制定改廃の 件数によって大きく左右されるが、削減の余地はあまり無い。					
		× 削減の余地があった	在田						

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
改善		A 現状維持		例規集の編纂、データ整備等について、より効率的なシステム化を図				
	В	B 内容の見直し	理由	る。 文書管理システムを活用し、文書の保管場所・方法などについて検				
		C 統廃合·休止·終了		討する。				
以普	事業規模の方向性							
	В	A 事業拡大	理由					
		B 現状維持		文書管理については、現在利用中のシステムを有効活用できていないため、運用方法の見直し、検討をすることが先決である。				
		C 事業縮小		ため、足川バムの元直の、「大門とすることが元がてある。				

	j	歳出			歳入							
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)					
И		11	1,642		国庫支出金							
1		13	4,311		府支出金							
		14	20	財	起債							
	予算科目	15	504	源内	分担金・負担金							
				訳	その他							
				一般財源		6,477						
	事業費合計		6,477		合計		6,477					